



09

奨励賞

エイチワンオー
H¹O 平河町

受賞者

施主 野村不動産株式会社
設計者 野村不動産株式会社一級建築士事務所
施工者 戸田建設株式会社東京支店

目的

世界の森林保護に参画できるオフィスビル

事業地である東京都の木材「多摩産材」を用いて、外装ガラス面を内側から320㎡のホルルーバーで覆った。内外の双方から木を感じさせる佇まいを表現している、自然（木材）が本来持つ優しい印象を活かしながら野村不動産のオフィスビルのコンセプト『ヒューマンファースト』の観点でファサードを創り上げた。また内部空間でも木材を豊富に使用し、「ストレス軽減」「健康増進効果」等を増進したWell-Beingなオフィス環境を確立している。さらに“割れ”“ささくれ”“ねじれ”等の経年変化を考慮し、オフィスワーカーの目に触れながらも手に届かない箇所に設置。ルーバーを視線の上部に配することで、視界を遮ることなく日射遮蔽の効果を高めると共に、設備負荷を軽減やCO₂削減にも寄与している。

社会的な違法伐採が問題となっており、木材は使うだけでなく『出所』を知る事も重要であると捉え、森林認証制度、SGEC/PEFC プロジェクト CoC 認証に取り組み、森林管理認証を取得した「持続可能な森林」から、生産物認証を取得した業者が木材の加工・流通を行い消費者の手元に届くといった「認証の連鎖」を確立。事業者ワーカーに安全を届けながら、世界の森林保護に参画できるオフィスを構築した。



認証制度



他木材利用とCO₂削減への貢献

「ストレス軽減」「健康増進効果」等を増進したWell-Beingなオフィス環境

木材は林野庁の木材科学データに立証されているリラクゼーション効果や知的生産性の向上の効果がある。木材や緑化をインテリアに取り込むことでWell-Beingなオフィス環境を確立。外観、専有部、ルーバーだけでなく、共用部の床、壁、天井、造作家具、既製家具に木材を採用した。



CO₂の削減・固定化に取り組み、脱炭素社会に貢献するオフィスビル

木材の使用だけでなくカーボンオフセット品を採用するなど、CO₂削減・固定化に取り組むと共に脱炭素社会に貢献するオフィスビルを目指した。

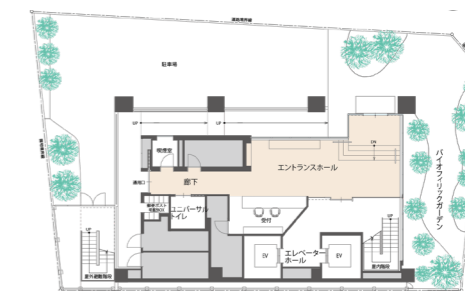


受賞概要・講評

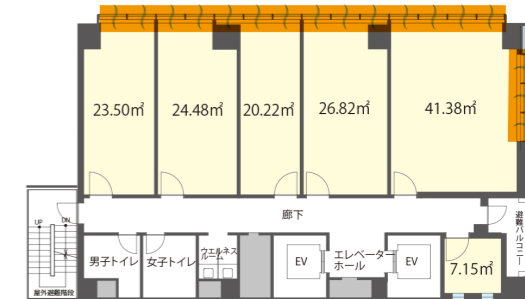
千代田区所在のテナント型オフィスビル。外装ガラス面の内側が多摩産材の杉を活用したルーバーで覆われている。森林保護にも取り組み、不動産ディベロッパー及びオフィスビル分野では初めての「SGEC/PEFC プロジェクト CoC 認証」を取得した。

本作品については「ルーバーを各フロアに導入したことで、配置はシンプルだが外観に統一感が出ている点」「高層ビルへ木を印象的に取り入れ、環境に配慮した好事例である点」等が評価された。

1階



基準階



立面図

